

あまや ゆら  
天谷優来さん

わが家では新聞を二紙取っています。地元の北日本新聞と北陸中日新聞です。平日は忙しくてあまり読む時間がないのですが、休みの日は食後のゆっくりした時間に目を通しています。二紙の一面をちらっと見て、興味のある方から読み始めます。

六月二十四日は、一面で沖縄の「慰霊の日」について取りあげていた北陸中日

### 読み比べ 視点の違いを知る

新聞から読み始めました。

同じ中学生の相良倫子さんのスピーチを前日にテレビで見te 訴えかけられるものがあり、新聞でも確かめたかったからです。昔の過ちを知って、語り継いでいかないとどんどん悪い方に行くような気がしています。

新聞を読むと、身近なことも世の中のことも知れます。また、同じ話題でも記者さんによって内容や感じ方が違うので、二紙を読み比べることで一つの物事に違った視点があることに気づけます。この六月は富山で起こった悪いことが全国ニュースになりましたが、大相撲の朝乃山関のように、富山出身の人が活躍するような全国ニュースが増えるとうれしいです。

(富山大付属中二年)